

城町八坂神社大祭【しろまちやさかじんじゃたいさい】



開催場所
開催日

城町八坂神社
6月7日
毎年6月7日

【芸能の概要】

獅子舞は1598（慶長3）年、立花宗茂公が朝鮮出兵から帰国して以来、400年以上伝承されているといわれる。城町八坂神社の神幸祭の一部として継承されており、毎年城町八坂神社の祭典に奉納される。1対の獅子が6月7日の朝6時頃より、町内の各家々を無病息災、悪魔除けに回る。18時頃から、先払いの獅子と神輿が行列を組み、町内を練り歩く。小学生による相撲も16時頃から行われる。

【芸能の特徴】

獅子舞は1598（慶長3）年、立花宗茂公が朝鮮出兵から帰国して以来、400年以上伝承してきたといわれており、神幸祭の発祥も同時期ではないかと推定されている。獅子舞がどこから伝来したかについての詳細は不明。

神幸祭自体は毎年行われてきたが、かつてあった獅子舞の演芸が人手不足のため行われなくなり、代替として大正後期から子供相撲が奉納されるようになった。獅子については現在、獅子頭を掲げて氏子の家を巡幸するのみとなっている。保存会は20年ほど前に発足し、現在に至っている。

【使用する祭具・道具など】

楽器は太鼓のみで、神社からテープを流すことにより代用している。

・アクセス

西鉄柳川駅より西鉄バス大川若津行きバス 20分

大川銀座バス停下車徒歩5分

西鉄柳川駅より車で20分

・周辺の観光

古賀政男記念館、大川市立清力美術館、旧吉原家住宅、インテリアポート

大川木の香マラソン大会（2月）、古賀政男記念大川音楽祭（3月）、大川木工まつり（10月）、大川市総合美術展（11月）

・近くの特産品

木製家具、木工芸品、組子、花ござ、エツ料理、有明のり、地酒

